

お米第一主義

嶺南中学校

二年

山川

瑛哉

僕の父はとにかくお米が好きだ。そんな父は食事の時、口癖のように言う。

「パンじや腹持ちが悪いから米を食べろ。」

「体を大きく、強くしたいなら米を食べろ。」

生まれてから十三年間ずっと言われ続けてきたことだ。僕はそれか当たり前だと思っ

たけど、学校で朝食アンケートをやる

と、パンを食べてくる友達もいるし、朝食を食

べたい。それに、休日や夏休みの部活で朝

から動かないといけない時なんて、父の言う

通りに、ご飯と腹一杯食べたりの、気持ち

悪くて吐きそうになる。帰ってそんな話をし

ても、父には全く通用しなかつた。むしろ、

「飯食わなきや、スタミナつかねえだろーよ。」

お前が今より早く起きて寝ぼけてねえでさっ

さと飯を食えばいい話だろ。」と言ひ返さ

結局今は母がいつもより早起きして朝食の用

意をしてくれている。それに父に内緒でご飯の量をこっそり減らしてよそってくれているのも気づいている。父が僕を思ってくれてくれていること、母が僕を思ってくれてくれていること、やり方はちよつと違うけど、両親が僕の成長を思ってくれていることは、僕にも一応伝わっている。一方で母も、ご飯をとおかずが必要で、たまには家事をさぼりたいうらしい。だから父のいない所で、

ととか言わないかなあ？とぼやいている。そのやりとりがちよつとおもしろい。そんなお米第一主義の父の元で育った僕は、結局お米が好きだ。朝食でご飯を減らした分、部活が終わってから食べるご飯は最高。おかずがハンバーグ、唐揚げ、しょうが焼きだ。たうもつと最高。ご飯がうまいと実感する。やっぱり僕もお米第一主義であることに気づく。

僕が暮らす南房総市の給食はいつもご飯。ホームページには、地産地消推進の完全米飯

5  
給食として、里・海・山の食材を生かし、子供たちに「飯」を基本とした和食中心の給食を提供<sup>た</sup>てていますと書かれていた。ラトメンや揚げパンもたまには食べたいなと思っけど、毎月もらう給食の献立表には食材や産地、栄養のことかひっしり書かれていて、沢山考えて作られた献立なんだと見ればすぐに分かる。少し前に、チーバくんの絵が書かれた米袋が千葉県内の倉庫に積み上げられているのをテレビで見た。コロナによる休校で給食がなくな

6  
なったり、近年の健康志向でお米を食べない人が増えて消費量が減り、大量のお米が余<sup>つ</sup>てしまっていると言っていた。さらにお米の価値が下がり、苦勞して手間暇かけて作ってもなかなか利益が上からず困っている。米農家さんか話していた。お米好きの僕としては少し悲しかった。僕の家にも田んぼがある。母が小さい頃は田植えや稲刈りは家族総出で手伝いとして田んぼに行き、ザリがニヤイモリをつかまえて遊んだ記憶があるらしい。自

8

7

分の家で作った新鮮なお米を食べるのが当たり前だった。母は、就職して都会に出た時に、美味しいお米のありがたさを実感したと言っていた。色々な理由でお米を手に行きない人もいる。そういう人の元には、倉庫に余ってしまっている千葉で作った美味しいお米が届いたらしいのになと思う。それをきっかけに千葉のお米を好きになつてくれたらもつと嬉しい。僕も今まで以上にお米を大切に味あつて食べたい。

8

中学に入り身長が伸びてきた。僕は部活でバスケットボールをやっていた。単純かも知れないけど、もつと身長を伸ばしたいし、当たり負けしない丈夫な身体を作りたい。だからその為に、これからもお米を食べ続ける。そして僕が大人になった時、やっぱり父と同じことを口癖のように言っている気がする。きた。最後に、本当に言いたいことは、とりあえず僕はお米が好きだ。